

議会だより

令和6年
第4回定例会

Matsushige Assembly News



松茂町議会と中学生との会議

主な内容

- 町政に対する一般質問 2
- 常任委員会委員長レポート 6
- 予算決算特別委員会報告 9
- 全員協議会報告 10
- 令和6年度全国市議会議長会基地協議会
第110回理事会 10
- 令和6年度町村議会議長会全国大会
及び議長研修会 11
- 編集後記 11
- 松茂町議会と松茂中学生との会議 12



町政に対する一般質問

本年4回目の定例会が12月5日から12月20日にかけて開催されました。
2日目に当たる9日には一般質問が行われました。

教育問題の相談窓口等について

問

児童生徒千人当たりでは17・6人から34・8人へと2倍となり全国とほぼ同じ増加ペースのようです。不登校の理由は児童、生徒によって千差万別であり、相談窓口を知らない保護者もいるのではないかと思います。本町の小中学校における教育問題の相談窓口等について伺います。

答

中学校では、担任の教員が複数になる「チーム担任制」を導入していますので、生徒自らの意思で相談したい教員を選べ、悩みを打ち明ける機会が増え、教員達も常にチームで教育上の相談をしながら、問題の未然防止や解決に繋がっています。また、STEAM教育にも取り組んでおり、探究的な学習や体験活動等を通じ、生きる力を育成しています。

さらに、子どもとその家族を支援する専門知識を持った、スクールソーシャルワーカーや、スクールカウンセラーを配置し、小学校には、親と子の相談員を配置して、子どもが話しやすい体制、保護者も相談しやすい体制をつくっています。また、不登校、不登校傾向にある児童・生徒には、



板東 絹代 議員

適応指導教室で、支援を実施しております。

しかしながら、文部科学省より公表された、いじめ、不登校、暴力行為、自殺など、学校で早期発見・早期対応に努めている一方で、件数は増加しています。

こういった複雑化、多様化した状況は、本町におきましても、懸念すべき教育課題であることから、さらなる相談窓口の広報を行ってまいります。

問

選挙時の投票支援カード、コミュニケーションボードについて

選挙の際、円滑に投票することができるよう投票所（期日前投票所含む）で投票のお手伝い（支援）を希望される場合は、投票支援カードに対応してほしい内容を記入する。コミュニケーションボードは投票所で想定されるお手伝い（支援）をイラストや文字で表示したもので、対応してほしい内容を指すことで投票所の係員に自分の意思を伝えることができます。投票支援カード、コミュニケーションボードを拡大して投票所の入り口または投票所内に掲載することはできないでしょうか。必要とされる支援の申出に寄り添った投票しやすい体制づくりをお伺いします。

答

支援を必要とする有権者のための「投票支援カード」や、「コミュニケーションボード」は、設置できておりません。

まず、「投票支援カード」につきましては、事前にホームページに様式を掲載し、有権者が自宅が必要事項を記入の上、投票所に持って来てコミュニケーションをとる仕組みです。次に、「コミュニケーションボード」につきま

県が行っている電話やラインで相談ができる、子ども何でもダイヤル、24時間子ども SOS ダイヤルなどがあり、チラシなどの配布や掲示によって行っています。

子ども達を取り巻く環境が大きく変わってきているなかで、不安や困りごとは、誰にでも起こり得ることで、支援に当たっては、児童やその保護者の意思を十分に尊重し、社会的に自立すること、課題を解決する力を身につけられるよう、関係機関等と連携しながら、持続的に必要な支援を行ってまいります。

これは、投票所の入口付近の見やすい場所や机の上に設置し、受付の担当者が有権者の困り事を言葉によらず伺う仕組みです。

これらの方法の有効性については、私も選挙管理委員会といたしましても議員と認識を同じくしておりますので、令和5年1月30日付総務省自治行政局選挙部からの助言「障害がある方に配慮した選挙事務の事例について」に準拠すると共に、他市町村の選挙管理委員会の事例も参考にしながら、来年夏に実施される参議院議員通常選挙から実施したいと考えています。

コミュニケーションボード

筆談希望

ここが知りたい！

議会会議録は松茂町立図書館及び議会ホームページにて3月から閲覧可能となります。

詳細についてはホームページに掲載している会議録をご参照下さい。

災害時における車中泊避難者への支援について

問

1、松茂町では政府の防災基本計画の修正を受け、車中泊避難者に対しての支援を検討されますか。
2、支援をしようとした場合、場所の選定や備蓄物資の準備、支援の実施方法等、どのように考えていますか。

答

まず1つ目は、徳島県地域防災計画の修正を見定めたくうえで、松茂町地域防災計画にも車中泊避難者に対する対応を盛り込んでいきたいと考えています。
ただし、その場合においても、発災直後の津波などから緊急的に避難する場合の「指定緊急避難場所」への避難については、徒歩で行うことが原則であることなどから、駐車場を用意するといった支援を行う想定はありません。支援はあくまで、災害



立井 武雄 議員

により家を失った人が生活する「指定避難所」などでの車中泊避難者への対応として計画に盛り込んでまいります。

これら支援想定は、海と河川に囲まれ、津波や高潮、河川氾濫の可能性の高い、本町の地域的な特性を考慮して決定してまいりたいと考えています。

次に2つ目は、場所の選定については、マツシゲートの駐車場や町内各小中学校のグラウンドなど、指定避難所に隣接した広い敷地になると想定されます。これらの場所に設定することで、避難者の人数把握や食料・救済物資の支援、避難者への呼びかけ等が比較的容易になり、加えて避難者も仮設トイレなどの使用が行いやすいという考えからです。

しかしながら、これらの場所は仮設住宅の建設候補地と重複することや、車中泊避難は健康面にリスクがあることから、指定避難所での避難生活を呼びかけるなどし、可能な限り小規模な設置に努めることになると想定されます。

また、支援方法については、指定避難所と同じ支援を提供できるよう努めることになると考えています。

再問

一般的に車中泊避難については「原則として推奨しない」としているようですが、今までの災害の事例を見てみると車中泊避難を選択する避難者が多い結果が出ています。

答

町が車中泊避難所を取り決めた場合、住民等への周知が必要になると思います。ただ、事前に車中泊避難の場所を広報したりすることは、町が車中泊避難を推進するみたいで難しい問題があると思います。いかがでしょうか。

確かに現段階で、徳島県における「災害時の「車中泊」対応ガイドライン」では、避難者の健康面でのリスクを考慮し、「原則としては推奨しない」としています。また、本町は海と河川に囲まれた低地であるため、自家用車が津波や洪水の被害にやすい地域特性があります。

今後、本町の地域防災計画を改定する際には、繰り返しにはなりますが、緊急時には車の使用は推奨しないこと、命をなからえた後の車中泊避難の計画と併せて、リスクについても十分に周知する内容にしたいと思えます。



医療的ケア児の対応について

問

医療的ケア児を持つ家族からの相談があった場合、町としてはどのような対応をしていくのかお考えをお伺いします。

答

医療的ケア児のご家族から町に相談があった場合、必要に応じて、徳島県医療的ケア児等支援センターと連携し、対応できる体制を整えています。

本町では、また、医療的ケア児の保育ニーズに対応するため、「医療的ケア



村田 茂 議員

児の保育施設受入れガイドライン」を作成し、主治医が保育施設における集団生活が可能であると判断した医療的ケア児を受入れています。

医療的ケア児の受入れに際しては、保護者と、福祉課、子ども家庭支援室、保健相談センター、教育委員会、保育施設、徳島県医療的ケア児等支援センターなど関係機関で、必要に応じてケース会議を開催し、受入れ予定の施設の看護師等の配置、また施設の環境整備等について協議を行います。

保育施設に看護師等を配置するときには、主治医の指示書により確認したうえで、保育施設が看護師等を直接雇用する、あるいは、契約により医療機関等から派遣してもらいます。

医療的ケア児が、保育園児から幼稚園児、小・中学生へと成長していくことを見据え、教育委員会をはじめとす

る関係機関と連携し、教育現場においても、状態に応じた適切な支援を継続できる体制を構築しています。

医療的ケア児及びその家族が、住み慣れた地域において、必要な支援を受けながら安心して生活を送ることができるよう、今後も関係機関がより一層の連携を図り、子どもの成長に寄り添った伴走型支援体制の充実に努めて参ります。



高齢者における日常生活支援について

問

高齢者は「お金」「健康」「孤独」と3つの大きな不安をもちながら生活を営んでいると考えます。

松茂在住の高齢者の方々日常生活の困りごとにおいて発注先や依頼業者への対応に懸念化する問題が多岐にわたりに寄せられております。

不安をいち早く払拭する為にも、敏速かつ細やかな支援やサービス体制の構築などの検討は、今後において最も重き課題であります。

根本における課題解決を認識する必要がある、地域が一体となって高齢者



議員 金森 恵美子

の自立的な生活を支えるべき地域包括システムにおける生活支援など、質の高い地域住民による取組が必要ではないかと考えます。

必要となってくるのが、自身と周囲の人々による支え合いだと思います。実効性のある地域包括ケアシステムの構築には、「自助」と「共助」へのアプローチが必要であると言えるのではないのでしょうか。

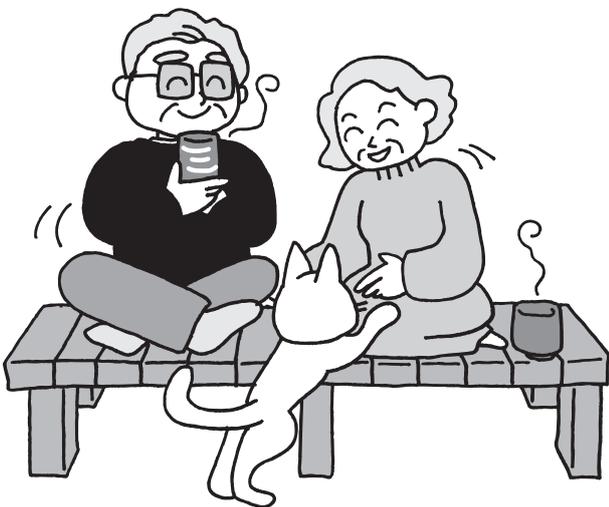
本町をはじめ、「質の高いケアが高齢者に届くまち」として、地域包括ケアシステムの推進体制等、日常生活支援の取り組みについて、具体的にお聞かせ下さい。

答

本町では、高齢者やその家族、周りの方からの困りごとなどの相談を受けた場合には、庁内の関係部署のみならず、関係機関と連携し必要な支援につなげる体制を整えております。また、高齢になっても健康で安心して住み続けられる松茂町について「支える側」「支

えられる側」の両側面から考える「支え合いミーティング」を定期的開催しております。この「支え合いミーティング」は、生活支援コーディネーターが調整役となり、参加者から出された地域の現状と課題について共有し、互いに考え、話し合い、どのような支え合い活動を、どのように創出するかを検討する場です。

今後とも、相談支援業務を継続するとともに、人と人を、また人と資源を繋げる体制の充実に努めて参ります。



常任委員会

委員長レポート

第4回定例会の議決の結果、報告第6号、承認第2号、議案第49号～第58号の10件、請願第3号、発議第5号については、原案どおり可決しております。

委員会付託案件以外で審査し、可決した内容

報告第6号	専決処分の報告について
専決第6号	喜来幼稚園空調改修工事変更請負契約締結について
請願第3号	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める請願
議案第56号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第57号	松茂町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
議案第58号	令和6年度松茂町一般会計補正予算(第5号)
発議第5号	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書

総務 常任委員会

総務常任委員長

立井 武雄

令和6年度松茂町一般会計補正予算(第3号)

既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ1千349万2千円を追加し、補正後の予算の総額を70億5千33万円とするものです。

この補正予算は、衆議院の解散に伴う第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判官国民審査を執行するための予算で、選挙の執行に必要な事務費として計上したものです。

令和6年度松茂町一般会計補正予算(第4号)

所管分

既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億6千954万6千円を追加し、補正後の予算の総額を72億1千987万6千円とするものです。

歳入の主なものとしましては、特定防衛施設周辺整備調整交付金111万4千円、普通交付税7千980万7千円をそれぞれ増額補正し、地方特例交付金166万3千円を減額補正するものです。

歳出の主なものとしましては、給与改定等により人件費を調整いたしますと共に、結婚新生活支援事業補助金345万円等を増額補正するものです。

なお、歳入歳出剰余金1億297万円を財政調整基金に積み立てるものです。



産業建設

常任委員会

産業建設常任委員長

尾野 浩士

令和6年度松茂町一般会計補正予算(第4号)

所管分

歳入の主なものとしましては、県単土地改良事業補助金233万9千円の増額は、農業用排水路の補修などに対して、県30%の補助金の交付を受けるものです。今回は、向喜来地区ひなたタウン北側で、柵渠水路57メートルの補修費に対するの補助です。

歳出の主なものとしましては、商工振興費、委託料246万5千円の減額は、海水浴場監視及び安全対策等委託料で、天候による開催数の減少など、実績により減額するものです。

また、都市下水道管理費、需用費35万円の増額は、笹木野水

ポンプ場エンジンポンプの修繕費を増額するものです。

主な質疑事項

Q 海水浴場にクラゲが出て、閉鎖したと聞きましたが、「まつナビ」などで閉鎖期間をお知らせしましたか。

A クラゲの発生により計4日間の閉鎖を行いました。検査により完全に水中にクラ

ゲがいないと分かるまで開催できなかったため広報ができませんでした。

令和6年度松茂町長原渡船運行特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額を増減なしとし、歳入歳出それぞれ、1千551万9千円とするものです。

今回の補正予算につきまして

令和6年度松茂町水道特別会計補正予算(第2号)

令和6年度松茂町下水道特別会計補正予算(第2号)

この2議案につきまして、も、人事院勧告に伴う給与改定その他人件費の予算措置によるものです。



教育民生

常任委員会

教育民生常任委員長

米田 利彦

令和6年度松茂町一般会計補正予算(第4号)

所管分

歳入の主なものとしてしましては、障がい者総合支援事業費補助金で30万9千円の増額は、障がい児サービスに係る認定手続きの簡素化や、上限額管理表の電子化に伴うシステム改修費用に対する国庫補助の増額によるものです。なお、負担割合は国2分の1、町2分の1となっております。

歳出の主なものとしてしましては、国庫支出金返納金579万3千円の増額で、令和5年度分の障がい者・児に対する給付額の実績確定による国費返納のための費用です。ひとり親家庭等生活向上事業負担金35万円の増

額は、国の補助事業「ひとり親家庭等生活向上事業」を徳島県が主体となり実施しており、松茂町の対象家庭への負担分として、県に支払うものです。子ども

の生活や学習を支援する目的で、申請時点で、高校3年生、中学3年生の児童を養育し、かつ、児童扶養手当を受給している、ひとり親家庭に、大学等の受験費用、また大学や高校等へ進学するための模擬試験費用の補助を行うもので、対象者への補助額については国が2分の1、県と町が4分の1ずつを負担するものです。

また、教育費の松茂中学校費、消耗品費446万4千円の増額は、4年に1度の、教科書改訂に伴い、令和7年4月から、中学校の教員が使用する指導書が更新されます。今年の小学校指導書の更新や郡内の状況も参考に、購入時期について見直しを行い、新年度の始まりがスムー

ズにいくよう、調整するため補正するものです。

主な質疑事項

Q ひとり親家庭等生活向上事業ですが、対象者の把握はできておりますか。

A 対象者の把握はできており、県から示された計算式から、補助に係る予定人数を算出しています。

令和6年度松茂町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ74万7千円を追加し、補正後の予算の総額を16億5千811万2千円とするものです。

この度の補正は、令和5年度事業の精算及び確定に伴うものです。歳出においては、償還金、利子及び割引料として、特別交付金返還金71万7千円、療養給

付費等国庫負担金返還金3万円の増額補正をいたします。この財源として充当するため、歳入では、前年度繰越金74万7千円を増額補正いたします。

令和6年度松茂町介護保険特別会計補正予算(第2号)

令和6年度松茂町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

2議案とも人事院勧告に伴う給与改定及びそれに伴う手当等人件費の予算措置のみとなっております。

なお財源としては全額一般会計からの繰入金で賄いますことから、両特別会計共に、歳入において歳出総額と同額を、一般会計繰入金で増額補正いたします。

予算決算

特別委員会

予算決算特別委員長

佐藤 道昭

令和6年度事務事業評価

を実施

令和6年度予算で、各常任委員会の主要事業（10事業）について、担当よりヒアリングを行い、評価を行いました。評価結果として拡充する（3事業）、現状のまま継続する（4事業）、一部修正し継続する（2事業）、廃止（完了）（1事業）となりました。評価意見は以下のとおりです。



● 総務部門

● 産業建設部門

<p>③結婚新生活支援事業</p> <p>委員会評価</p> <p>結婚新生活支援事業で新たに町単独分の枠を追加したことにより、以前に比べ実績、相談件数の増加が見られる。補助金額の上乗せ、再婚も可能にするなど一部補助要件を変えることにより、効果的であると考えられる。</p> <p>【一部修正し継続する】</p>	<p>②総合戦略等策定事業</p> <p>委員会評価</p> <p>総合戦略に一本化させることにより、施策・取組、人口減少という大きな課題に対して、今後、業務内容に目標設定するなど事務の煩雑化を軽減することに努めてください。</p> <p>【現状のまま継続する】</p>	<p>①自治体システム標準化事業</p> <p>委員会評価</p> <p>国の示す20業務を標準化するため、適切に対応していると思われる。今回のシステム整備終了後、町民の窓口での利便性の向上に向けたDXの推進を考えて進めてもらいたい。</p> <p>【拡充する】</p>
---	--	--

<p>③道路等改良・舗装及び橋梁修繕事業</p> <p>委員会評価</p> <p>引き続き、定期点検を行い、未だ未着手の橋梁などをできるだけ速やかに改修等を実施すること。</p> <p>【現状のまま継続する】</p>	<p>②長原小学校等跡地利活用計画策定事業</p> <p>委員会評価</p> <p>徳島大学と連携を密にし、長原地区だけでなく、松茂町全体の発展のための計画策定を考えていただきたい。</p> <p>【現状のまま継続する】</p>	<p>①再生可能エネルギー導入目標策定事業</p> <p>委員会評価</p> <p>松茂町ゼロカーボンシティ宣言をして地球温暖化対策に取り組んでいく上で、今後、評価をする上で、目標設定を数値化してください。</p> <p>【一部修正し継続する】</p>
---	---	---



長原小学校

<p>④防災・減災対策事業・上水道耐震化事業</p> <p>委員会評価</p> <p>自衛隊までの布設替え工事を令和9年度までに着実に完了し、今後、国交省の補助金を活用しながら、耐震化を進めてもらいたい。</p> <p>【現状のまま継続する】</p>
--

<p>③競技力向上サポート事業</p>	<p>②喜来幼稚園空調改修事業</p>	<p>①高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費</p>
<p>委員会評価</p>	<p>委員会評価</p>	<p>委員会評価</p>
<p>陸上以外のスポーツにもサポートできる体制をとるべきではないか。また、各小中学校に公平に専門的指導が行えるように考えていただきたい。</p> <p>【拡充する】</p>	<p>計画どおり、個別空調化の工事は竣工できたと思います。</p> <p>【廃止】</p>	<p>保健師・管理栄養士・介護予防等の人員を増員し、これまで以上のサービスの提供ができるように考えていただきたい。</p> <p>【拡充する】</p>

令和6年12月5日に町議会議員、町長はじめ担当課職員出席のもと、町づくりに関わる重要事項について協議いたしました。

協議事項

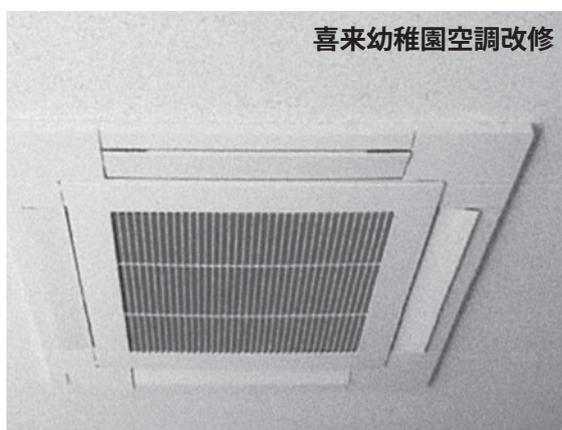
(1) 令和6年議案第34号に係る正誤表の報告について

(2) 戸籍への振り仮名記載について

(3) 歴史民俗資料館空調等改修工事について

(4) 松茂中学校空調改修工事について

**全員協議会
報告**



令和6年度全国市議会議長会基地協議会 第110回理事会

令和6年11月19日（火）、東京都（全国都市会館2階「大ホール」）において、「令和6年度全国市議会議長会基地協議会 第110回理事会」が開催され、本町から、板東絹代副議長が出席しました。全国市議会議長会基地協議会に加盟している自衛隊の基地等がある市町村が集まり、基地周辺対策経費、基地交付金及び調整交付金について議論を重ねました。この度は、基地交付金・調整交付金、令和7年度概算要求等について、地元国会議員に対して、要望活動をするようになりました。

理事会終了後、衆議院議員会館へ向かい山口俊一衆議院議員と面談し、基地交付金・調整交付金、令和7年度概算要求等に理解を示していただきたく、要望書を提出してまいりました。

今後も松茂町発展のために様々な要望活動を行ってまいります。



令和6年度町村議会議長会全国大会 及び議長研修会

令和6年11月13日（水）、東京都（NHKホール）において、「令和6年度町村議会議長会全国大会」が開催され、本町から、川田修議長が出席しました。全国の町村議会議長が集まり、全国からの要望書を確認し、決議、特別決議を宣言いたしました。その後、特別講演 講師として中央大学法科大学院教授 野村修也様を、演題「地方創生 成功の鍵」についてご講演いただきました。

地方創生を成功させるポイントとして「地域課題の発見及び目標設定」、「地域資源の有効活用」、「多様な人材の育成」、「活動資金の調達（補助金、助成金）」「外部機関との連携」などの項目を押さえていく必要があると話をしておりました。

翌日の11月14日（木）ホテルルポール麹町にて、徳島県町村議会議長会議長研修会に参加いたしました。講師として元全国都道府県議会議長会事務局次長 内田一夫様を迎え、演題「議長の権限と議事運営上の諸問題」についてご講演いただきました。会議運営にあたっての議長の権限と議会運営の仕組み、各種諸問題についての対応など、これまでの経験の中での手法についてご教授いただきました。



編集後記

昨年、11月22日に議場において松茂中学校3年生との「松茂町議会と中学生との会議」が行われました。政治を身近なものに感じると共に、町議会や行政、町民が果たす役割について理解を深めようとするもので、8名の中学生が登壇。日頃感じていることについて議論した内容を発表し、議員からは講評を行いました。私共「伝える」から「伝える」議会だよりを目指し、議会への傍聴や議会に対する貴重なお意見をお聞きしつつ、伝える広報、議会の活性化に努めてまいります。
(恵)

広報常任委員会

委員長	委員	委員	委員	委員	副委員長
村田 茂	立井 武雄	鎌田 寛司	尾野 浩士	川端 順	金森恵美子

訂正

第98号 11ページ 行政視察レポートの記事中に誤記がありましたので、お詫びして訂正いたします。
誤：4基の様式トイレ
正：4基の洋式トイレ

松茂町議会と中学生との会議



議場での中学生発表

11月22日（金）松茂町役場議場で、松茂町議会議員と松茂中学生3年生8名とで、「松茂町議会と中学生との会議」を開催いたしました。

町議会の仕組みや役割、議会が自分たちの生活にどのように関わっているのか、将来の住民自治を担う生徒に町議会に対する親近感と興味を持ってもらうことを目的として、松茂町の将来、松茂町が良くなることをテーマに発表してもらいました。今回は、STEAM（スティーム）教育の一環として生徒たちが松茂町の課題の抽出・解決策の検討、町議会への提案を考え、プレゼンテーション方式で発表し、議員からは、講評を行い、松茂町発展のために意見を交わしました。

3年 A 組 教育委員会 たけうち はる 竹内 陽 きたにし しゅんすけ 北西 駿介

「夢フライト」

夢フライト事業について、中学3年生でのアンケート調査を実施した結果、全体の約7割がコロナ禍以前のオーストラリアへ興味を持つという回答が多かったです。今後、コミュニケーション力の向上などを理由に行き先をオーストラリアなど海外に変更したいという提案がありました。

3年 B 組 産業委員会 かわかみ かい 河上 會 さこ たける 佐古 健

「松茂町の特産物を活かそう」

松茂町で生産している梨を「阿波おど梨」と言い、その梨を使ったスイーツを地元業者で作って販売し、美味しいと認識してもらい、町の活性化に繋がりたいと提案がありました。

3年 C 組 健康委員会 きし ゆり 喜枝 優有 ふくむら ももか 福村 百華

「松茂町健康の課題について」

夏場の気温上昇に伴い、十分な体育の授業及び部活動が行えず、結果、運動不足や体調不良になる生徒が増加している現状である。このような状況を改善するために体育館へのクーラーの設置の提案がありました。

3年 D 組 防災委員会 はま りん 濱 凜 むらおか さき 村岡 沙紀

「災害への備え」

松茂町が実施している防災訓練の認知及び参加について、生徒及び町民の方にアンケート調査を実施し、認識している及び参加したことがある人が非常に少ないことが分かった。「災害時の役割分担を決める」、「防災訓練日及び時間の変更」などの改善について提案がありました。